

テーマ

一貫した支援をめざして ～10分間のケース会議～

活動期間 : 平成22年8月18日
～平成23年 6月10日

構成人数 : 江崎美樹 (リーダー・書記)
山下浩司 (データ収集・PC操作)
江藤宣子 (データ収集・日程調整)

サークル名 : 相・eye・愛サークル

テーマの選定

- ①支援の一貫性
- ②職員能力の差
- ③入所者の思いに応える

<上位方針>

・情報の共有化に関するテーマを選定するように。

現状把握 1

～情報伝達手段～

- ・PC(サイボーズ掲示板)
- ・朝礼・昼礼
- ・日誌(介護日誌・宿直日誌・看護日誌)
- ・職員会議

現状把握2

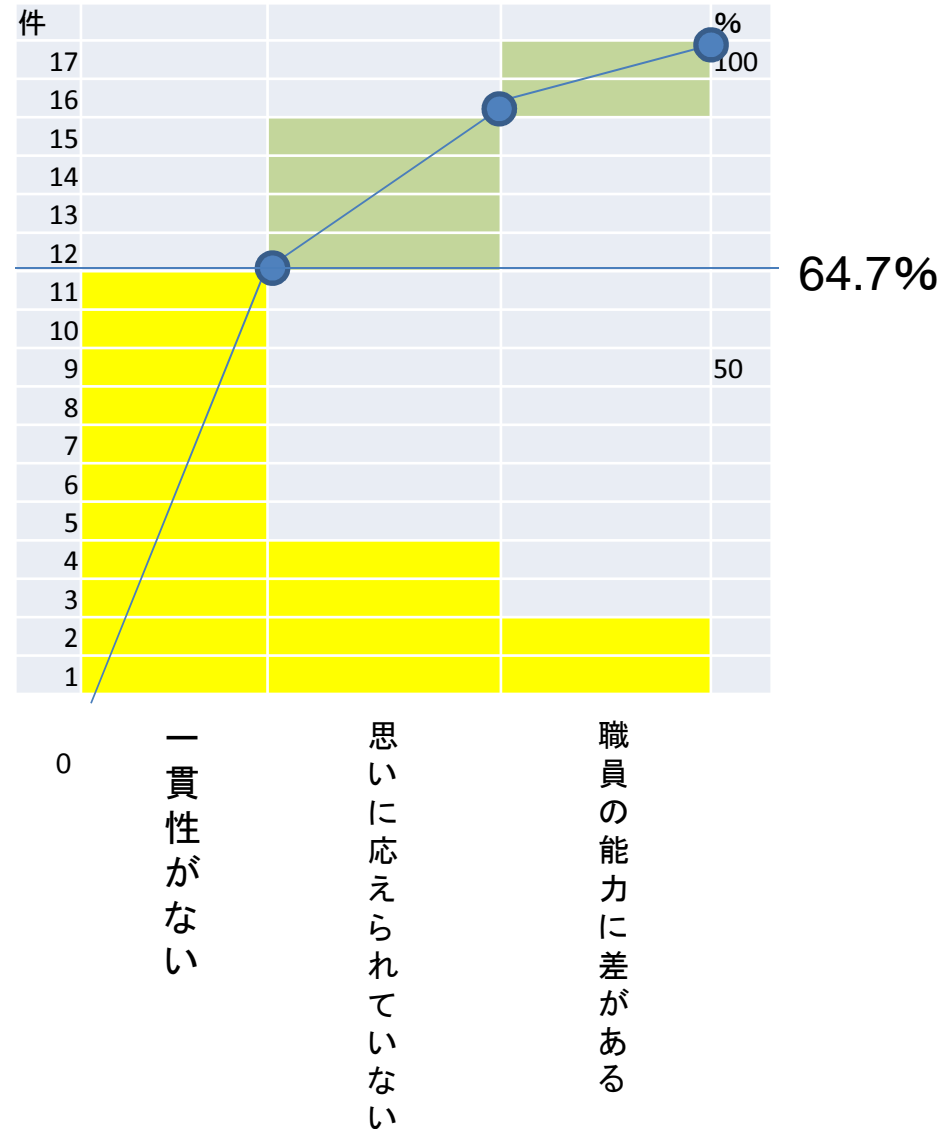
日誌から抽出

問題	件数
一貫性がない	11件
思いに答えられてない	4件
職員の能力に差がある	2件
合計	17件

**一貫性がないことが
一番の問題**

パレート図

平成22年 9月 1日～ 9月30日



現状把握3

～Oさんの事例～

Oさんは、病院から退院され一ヶ月ほど経ったところです。入院期間中のADLは自立しており、移動には本人の歩行器を使用して、日中のレクリエーション活動等、意欲的に取り組まれ、良い状態でした。主治医から施設生活に戻っても現状を維持するようにと退院時に指導を受けていました。

この情報は共有の情報として周知されたものの、退院後のケース会議は実施されず、支援方法を決めなかったため、職員によって対応バラつきがあり、統一した支援が出来ませんでした。

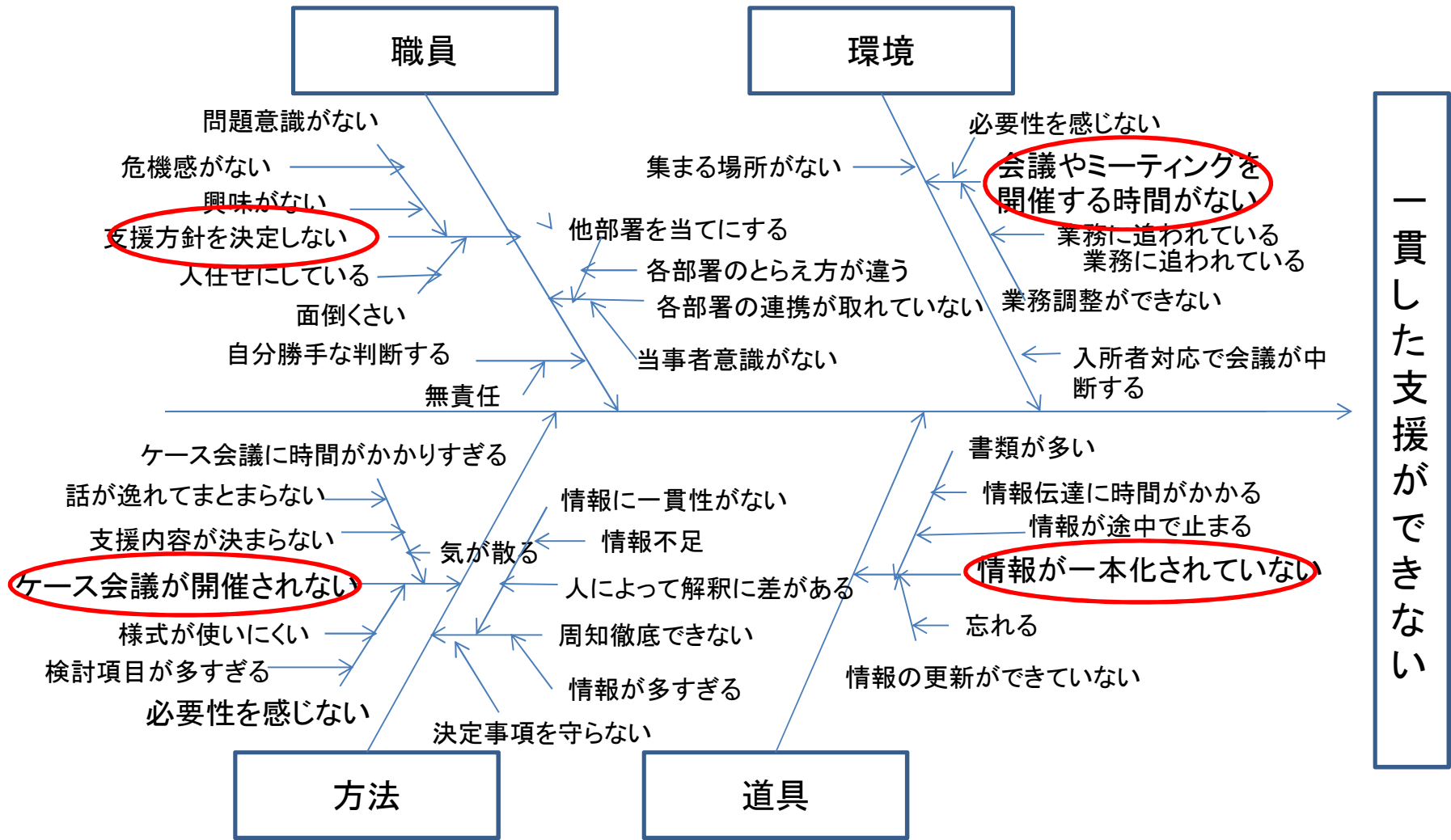
結果的にOさんは、歩行器を拒否するようになり、終日車椅子を使用するようになりました。また、日中活動はなくなり、食事・入浴・おやつ以外は居室で臥床中心の生活となりました。

統一した支援が実施されていれば…

目標設定

一貫した支援をする

要因の解析



一貫した支援ができない特性要因図

要因の解析から・・・

方針の決定が遅く、支援がバラバラ



統一した支援ができない



ケース会議の開催が必要！！

ケース会議の現状（問題点）

- ① 1回の時間が長く、開催回数が少ない。（1時間程度）
（問題があっても、すぐに対応できない） 「年間55回」
- ② 方針が決定されない
（ただ、ああでもない、こうでもないと話をするだけ）
- ③ 方針が決定しても、全員が統一した行動をしていない
（情報の共有化が不十分→当事者意識が薄い）
（1度にたくさんの支援内容を決めるため、忘れてしまう）

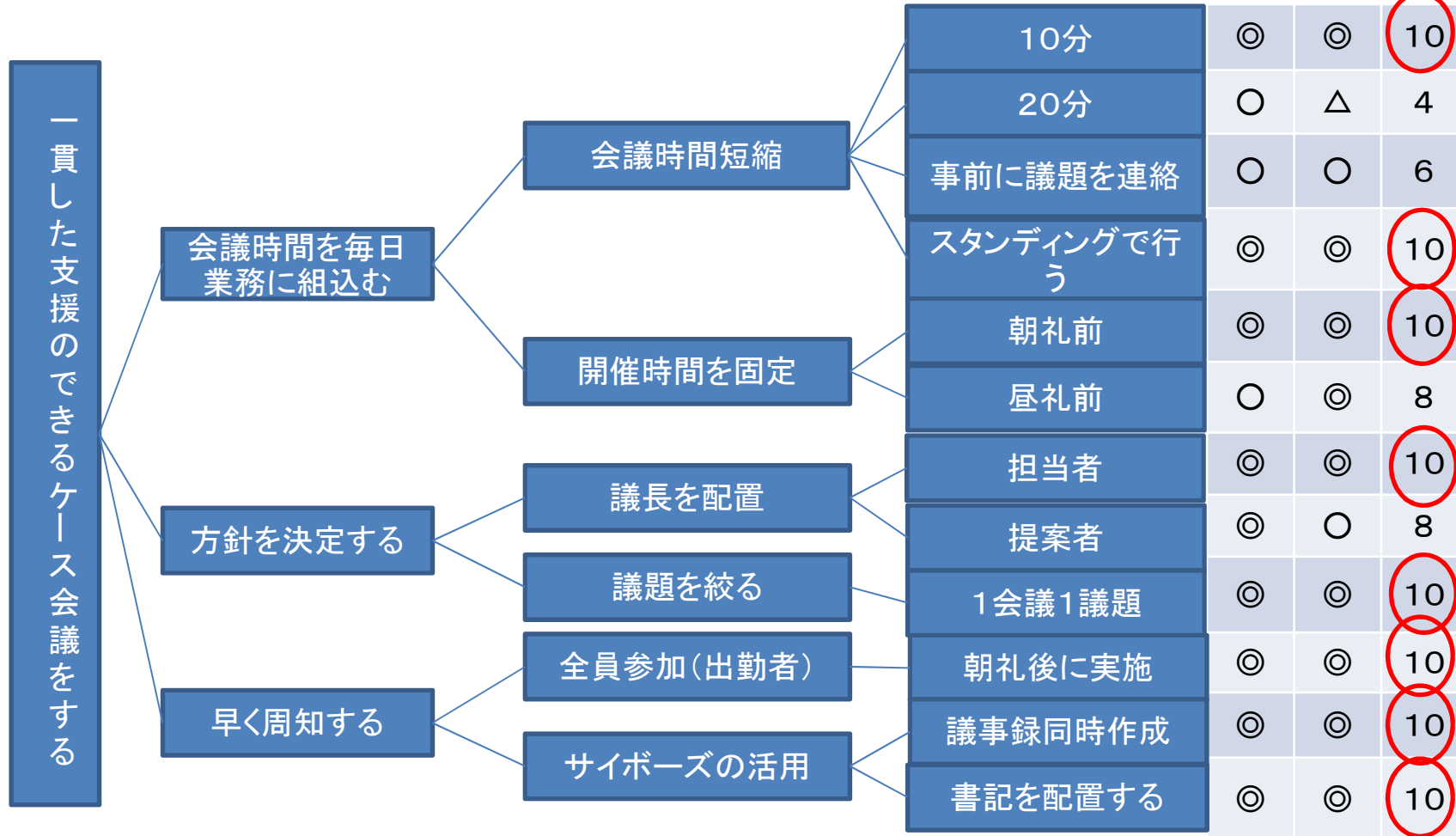


その結果

- ① 会議を短く、簡単にする
- ② 素早く方針を決定する
- ③ 決定事項を早く共有する

対策の立案

◎:5点 ○:3点 △ 1点



作成日:平成22年12月24日

作成者:江崎 美樹

対策の実施

なぜ	何を	誰が	いつまでに	どこで	どのように
一貫した支援をするために	ケース会議を	職員が	平成23年6月10日までに	職員室で	<ul style="list-style-type: none">・朝礼後10分間・書記と議長を配置・スタンディング
会議で方針を決定するために	ケース会議を	議長が	平成23年6月10日までに	職員室で	1会議1議題にする。

対策の実施 ケース会議の内容を絞る

ADL

生活状況

既往歴

コミュニケーション

生活歴

問題点

Iさん

効果の確認

10分間ケース会議の開催事例

日時	名前	検討内容	支援内容	効果の有無
2月8日	Aさん 男性 73才	車椅子自走から杖歩 行への移行支援につ いて	毎食時、居室から食堂ま での移動を職員見守りの下、 杖歩行で移動していただく	○
2月9日	Bさん 女性 72才	夜間の排泄に伴う転 倒防止について	NCを利用していただき、 夜間のトイレ誘導を行う。	○
2月10日	Cさん 女性 55才	体重増化による身体 的負担について	1日に2回体重チェックを 行う	○
2月11日	Dさん 男性 59才	下肢筋力の低下によ る転倒防止の対策に ついて	歩行器での歩行訓練を行い、 安定した移動ができるよう にする	○
2月14日	Eさん 男性 68才	肛門部からの出血状 態と入浴方法につい て	トイレ誘導・入浴時は患部 の確認を行い、入浴は最後 にする	△

10分間のケース会議の効果

- ※1 朝礼後の時間を充てることで、無理なく時間の確保ができた。
- ※2 1会議＝1議題と決めたため、充実し、時間短縮と効率が上がった。
- ※3 職員間の情報の共有化が同時にでき、統一した支援ができる基盤となった。

効果の確認

年間会議開催件数

対策前 8件 ⇒ **147件**
(平成21年度 1年間) (平成23年度 1年間)

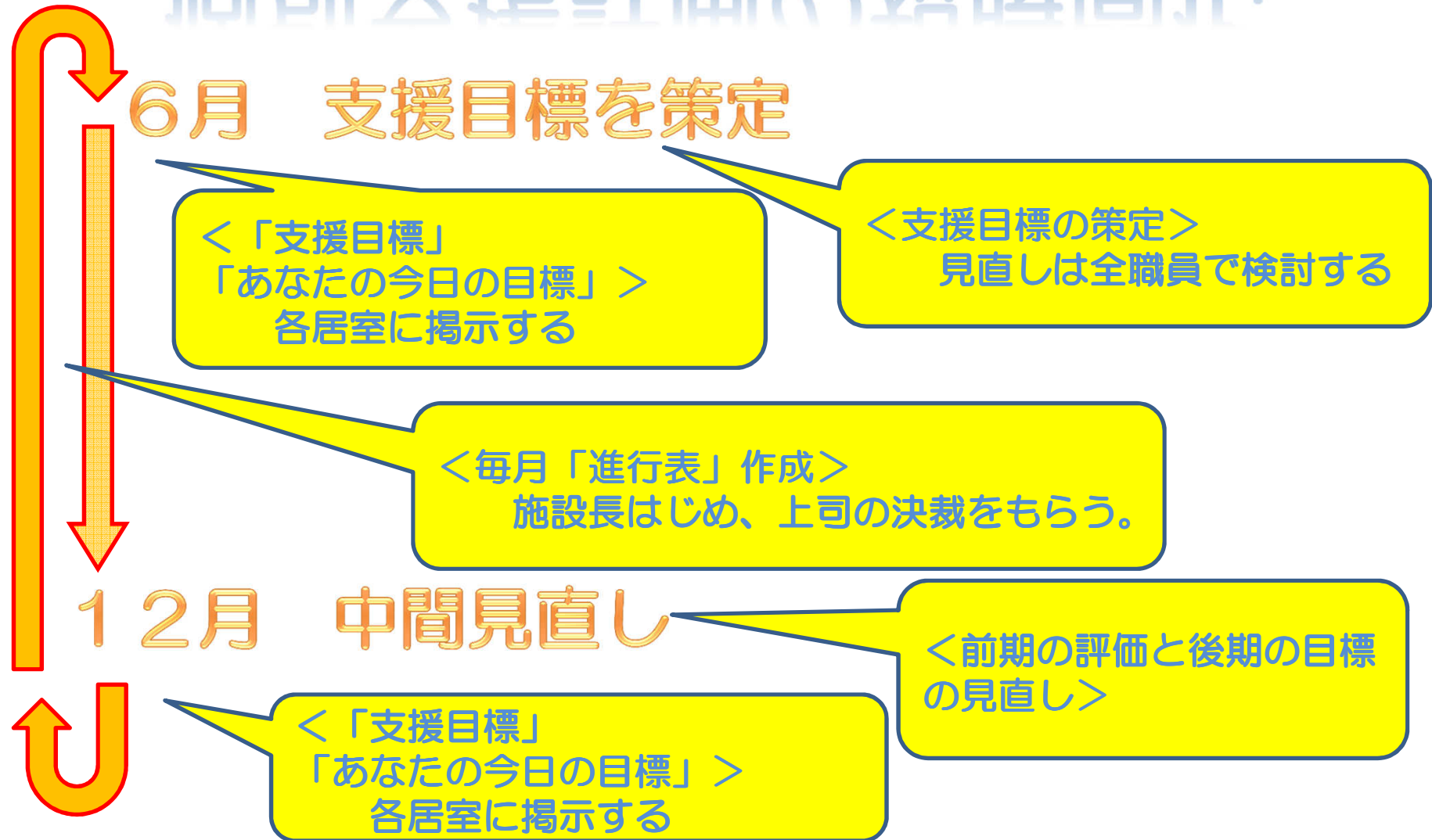
101件
(平成24年度2月末現在)

会議内容の内訳	平成23年度	平成24年度
状態変化	120件	56件
評価見直し	17件	26件
入退院	4件	7件
新入所	4件	10件
退所	2件	2件
合計	147件	101件

歯止め

- 1 朝礼後に**スタンディング**で行う
- 2 会議で話し合う支援内容は**1つに絞る**
- 3 **司会者**と**記録者**を分け、司会者は会議を進行し、記録者は**その場で直接**PC（掲示板）に入力する。

波及効果1 個別支援計画の短時間化



波及効果2

「10分間ケース会議」



H22.H23で成果有！

「1分間ラポール」



H23.H24で 一定の成果有！

「データバンク知恵袋の創設」

H25.H26の予定

御静聴ありがとうございました
御座いました。